



23  

2016年2月期 中間決算説明会

株式会社 オンワードホールディングス

目次



決算概要

連結業績.....	2
連結P/L実績.....	3
地域別の実績.....	4
国内事業実績.....	5-6
海外事業実績.....	7

業績予想

連結業績予想.....	8
連結P/L予想.....	9
地域別の予想.....	10
国内事業計画.....	11-12
海外事業計画.....	13
今後の財務戦略について.....	14

DATA BOOK



売上高

1,255億円

(前年比 $\Delta 5.0\%$) (計画比 $\Delta 0.4\%$)

営業利益

2億円

(前年比 $\Delta 91.3\%$) (計画比 $\Delta 90.6\%$)

経常利益

13億円

(前年比 $\Delta 55.1\%$) (計画比 $\Delta 56.5\%$)

国内事業・海外事業共に
利益計画を大幅に下回る

2016年2月期上期 連結P/L実績

連結

- 国内事業は、3月の売上不振が響きプロパー売上拡大に至らず、粗利益率が低下
- 海外事業は、政治・経済情勢の外的要因もあり、欧州事業が苦戦
- 経費コントロールによるコスト削減を実施したが、経費率が上昇（前年比+0.4%）

(百万円)

	上期実績				上期計画		
	2016年2月期	2015年2月期	増減	前年比	2016年2月期	増減	計画比
売上高	125,495	132,125	△6,630	△5.0%	126,000	△505	△0.4%
売上総利益	57,755	62,560	△4,805	△7.7%	60,200	△2,445	△4.1%
（売上比）	46.0%	47.3%		△1.3%	47.8%		△1.8%
営業費	57,530	59,983	△2,453	△4.1%	57,800	△270	△0.5%
（売上比）	45.8%	45.4%		0.4%	45.9%		△0.1%
営業利益	225	2,577	△2,352	△91.3%	2,400	△2,175	△90.6%
（売上比）	0.2%	2.0%		△1.8%	1.9%		△1.7%
経常利益	1,347	3,001	△1,654	△55.1%	3,100	△1,753	△56.5%
（売上比）	1.1%	2.3%		△1.2%	2.5%		△1.4%
特別利益	4,516	2,976	1,540		2,000	2,516	
特別損失	373	501	△128		500	△127	
当期純利益	1,920	1,702	218	12.8%	1,800	120	6.7%
（売上比）	1.5%	1.3%		0.2%	1.4%		0.1%

2016年2月期上期 地域別の実績

国内

- ・ オンワード樫山は、強化対象の基幹ブランド「23区」「五大陸」が堅調に推移したものの3月のプロパー売上不振の影響により、粗利益率が低下
- ・ その他国内子会社は、インポート事業等において赤字幅が拡大

海外

- ・ 欧州事業は外的要因も含め、収益性が低下
- ・ アジア事業、米国事業は、不採算事業および店舗の廃止により、収益性が改善

(百万円)

		上期実績			上期計画	
		2016年2月期	2015年2月期	前年比 (%)	2016年2月期	計画比 (%)
HD + オンワード樫山	売上高	69,918	75,639	△7.6%	71,400	△2.1%
	営業利益	2,337	3,980	△41.3%	4,000	△41.6%
その他国内	売上高	37,313	38,389	△2.8%	38,340	△2.7%
	営業利益	191	624	△69.4%	793	△75.9%
国内計	売上高	107,231	114,028	△6.0%	109,740	△2.3%
	営業利益	2,528	4,604	△45.1%	4,793	△47.3%
欧州	売上高	19,228	20,822	△7.7%	18,853	2.0%
	営業利益	△1,183	△423	↓	△546	↓
アジア	売上高	3,736	3,377	10.6%	3,373	10.8%
	営業利益	△92	△97	↑	△193	↑
米国	売上高	2,897	2,559	13.2%	2,955	△2.0%
	営業利益	26	△2	↑	83	↑
海外計	売上高	25,861	26,758	△3.4%	25,181	2.7%
	営業利益	△1,249	△522	↓	△656	↓
単純合算合計	売上高	133,092	140,786	△5.5%	134,921	△1.4%
	営業利益	1,279	4,082	△68.7%	4,137	△69.1%

注: 連結業績には上記の他、連結調整が含まれております。

国内事業（上期実績） オンワード樫山

オンワード樫山

	売上高		営業利益		経常利益		(百万円)		
	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	
HD+オンワード樫山	69,918	△7.6%	△2.1%	2,337	△41.3%	△41.6%	3,196	△33.0%	△33.4%

第1～2四半期業績の推移（期間計/前年対比）

	第1四半期				第2四半期			
	実績	前年		実績	前年			
		(差額)	(%)		(差額)	(%)		
売上高	390	△37	△8.7%	309	△20	△6.0%		
売上総利益	204	△23	△10.0%	141	△9	△6.1%		
売上総利益率(%)	52.2%		△0.7%	45.6%		±0		
営業費	160	△7	△4.1%	161	△8	△4.9%		
営業利益	44	△16	△26.2%	△21	△1			

上期計		
実績	前年	
	(差額)	(%)
699	△57	△7.6%
344	△32	△8.4%
49.3%		△0.4%
321	△15	△4.5%
23	△16	△41.3%

月次売上の推移（前年対比）

月	3月	4月	5月	10	6月	7月	8月	20	上期
%	△18	△1	△5	△9	△9	△3	△4	△6	△8

<4～8月>

- ・ 3月の影響を除く、4～8月計は△4%
- ・ 基幹ブランド合計は+1.1%
- ・ 「23区」「五大陸」等、主力4ブランドが堅調に推移
 - （23区） +3.8% （五大陸） +0.4%
 - （ジョゼフ） +5.9% （any SiS） +1.2%

第1四半期

3月のプロパー売上が苦戦。4月以降、「23区」等の基幹ブランドやメンズスーツが復調となったが、ショッピングセンター向けブランドを中心に回復が遅れ、売上計画を下回った

第2四半期

プレセールを行わなかった影響により、6月は低調。7月の夏期セールは計画通り推移したものの、6-7月のプロパー強化施策の効果が限定的で、粗利益率は前年並に留まった

- Eビジネスは、8月にサイトおよびインフラ刷新のため一時休止したものの、計画を上回る 37億円（前年比 +14.6%）で推移

国内事業（上期実績） その他国内子会社

国内子会社

	売上高		営業利益		経常利益		(百万円)		
	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	(前年±)	(計画±)	
オンワード商事	7,968	4.3%	4.3%	609	△0.2%	3.2%	614	△0.5%	2.3%
チャコット	5,738	1.4%	0.3%	432	△2.5%	2.4%	410	△4.0%	1.7%
クリエイティブヨーコ	2,968	△6.8%	△7.0%	△115	↓	↓	△103	↓	↓
アイランド	4,183	4.3%	△0.5%	472	△9.1%	△19.0%	494	△1.8%	△15.6%
バースグループ	1,228	△51.0%	18.5%	△286	↑	↑	△308	↑	↑
アクロストラנסポート	5,699	△1.0%	3.5%	99	147.5%	86.8%	104	160.0%	100.0%
オンワードクリエイティブセンター	1,664	△20.7%	△7.6%	31	210.0%	158.3%	32	190.9%	166.7%

● オンワード商事（ユニフォーム・セールスプロモーション商品等）

- ・ 新規受注案件の取得により、売上高、利益ともに計画を上回った

● チャコット（舞台・演劇・バレエ用品等）

- ・ 商品開発力の強化によりヒット商品を創出し、バレエ関連事業が好調に推移

● クリエイティブヨーコ（ペット関連用品等）

- ・ 郊外SC店舗における売上低迷とペット衣料の不振、円安によるコスト上昇により、売上、利益共に計画を下回る

● アイランド（婦人服・雑貨等）

- ・ 雑貨ブランドの新規展開により拡大がはかれたものの、広告宣伝費等の増加により減益

● バースグループ（ヤングカジュアル婦人服・雑貨等）

- ・ 前年実施した不採算事業の廃止効果により、赤字幅が縮小

● アクロストラנסポート（ファッション物流事業等）

- ・ 受託業務が減少したものの、コスト削減により増益

● オンワードクリエイティブセンター（商業施設の設計・施工等）

- ・ メディカルデザイン(医療施設のデザイン)の拡大と粗利益率の向上により、収益性が改善

海外事業（上期実績） 欧州/アジア/米国

	売上高		営業利益		経常利益		(百万円)		
	(前年士)	(計画士)	(前年士)	(計画士)	(前年士)	(計画士)	(前年士)	(計画士)	
オンワードラグジュアリーグループ	11,967	△15.5%	3.1%	△ 929	↓	↓	△ 499	↓	↓
ジョゼフグループ	6,267	6.8%	△2.1%	△ 323	↓	↓	△ 261	↓	↓

>> 地域別の売上高・利益の上期実績は、P4を参照

欧州

※ 欧州は2014年12月～2015年5月の実績になります

オンワードラグジュアリーグループ

<ジボ・コーグループ事業>

- ・ ライセンスブランドおよびジル・サンダーの受注減少に伴い、アパレルの生産・卸売事業が苦戦
- ・ 従来のライセンス契約(生産～卸売の受託)からOEM型(生産のみ)への取引変更が増加し、粗利益率が低下

<ジル・サンダー事業>

- ・ 中東・ロシア情勢等の外的要因も影響し、特に卸売事業が苦戦

ジョゼフ

- ・ ロンドンコレクションへの参加によりブランドイメージが向上
- ・ 2015春夏のMDの失敗(主力アイテム不足→秋冬から改善)に加えて、中東、ロシア情勢等の影響により、5月まで小売が苦戦

アジア

※ アジア・米国は2015年1月～6月の実績になります

- ・ 中国事業においては、不採算店舗の廃止効果により収益性が改善
- ・ 東南アジア事業においても、不採算店舗の整理を進行中

米国

- ・ 小売事業は、経費コントロールにより赤字幅が縮小
- ・ リゾート事業は、円安の影響により日本人来島者が減少し、売上計画を下回る

2016年2月期下期 連結業績予想

日本発
世界服



gotairiku
五大陸

売上高

1,419億円

(前年比 Δ 5.0%)

営業利益

44億円

(前年比 +38.7%)

経常利益

45億円

(前年比 +7.0%)

国内・海外事業ともに
消費環境の厳しさは残るものの
経費効率の改善により、下期増益を見込む

2016年2月期下期 連結P/L予想

連結

- 国内事業、海外事業共に厳しい消費環境をふまえ減収の見通し
- 不採算事業の廃止が進み、新規事業等への投資が一巡したことで経費効率が改善し、下期増益を見込む

(百万円)

	上期実績			下期予想			通期予想			
	2016年2月期	増減	前年比	2016年2月期	増減	前年比	2016年2月期	2015年2月期	増減	前年比
売上高	125,495	△6,630	△5.0%	141,905	△7,471	△5.0%	267,400	281,501	△14,101	△5.0%
売上総利益	57,755	△4,805	△7.7%	63,345	△3,158	△4.7%	121,100	129,063	△7,963	△6.2%
(売上比)	46.0%		△1.3%	44.6%		0.1%	45.3%	45.8%		△0.5%
営業費	57,530	△2,453	△4.1%	58,970	△4,379	△6.9%	116,500	123,332	△6,832	△5.5%
(売上比)	45.8%		0.4%	41.6%		△0.8%	43.6%	43.8%		△0.2%
営業利益	225	△2,352	△91.3%	4,375	1,221	38.7%	4,600	5,731	△1,131	△19.7%
(売上比)	0.2%		△1.8%	3.1%		1.0%	1.7%	2.0%		△0.3%
経常利益	1,347	△1,654	△55.1%	4,453	292	7.0%	5,800	7,162	△1,362	△19.0%
(売上比)	1.1%		△1.2%	3.1%		0.3%	2.2%	2.5%		△0.3%
当期純利益	1,920	218	12.8%	2,380	△122	△4.9%	4,300	4,204	96	2.3%
(売上比)	1.5%		0.2%	1.7%			1.6%	1.5%		0.1%

2016年2月期下期 地域別の予想

国内

- ・ オンワード樫山は、基幹事業の強化、不採算事業の廃止をさらに進めるとともに、来期に向けた組織改革をスタート
- ・ その他国内子会社は、事業基盤の整理により収益性が改善

海外

- ・ 欧州事業は、オンワードラグジュアリーグループは売上高・利益共に苦戦を想定するが、ジョゼフグループは改善を見込む
- ・ アジア事業、米国事業は、不採算事業の廃止により収益性が改善

(百万円)

		上期実績		下期予想		通期予想		
		2016年2月期	前年比 (%)	2016年2月期	前年比 (%)	2016年2月期	2015年2月期	前年比 (%)
HD + オンワード樫山	売上高	69,918	△7.6%	80,182	△3.0%	150,100	158,273	△5.2%
	営業利益	2,337	△41.3%	6,363	△5.5%	8,700	10,716	△18.8%
その他国内	売上高	37,313	△2.8%	39,168	△3.5%	76,481	78,998	△3.2%
	営業利益	191	△69.4%	975	↑	1,166	258	351.9%
国内計	売上高	107,231	△6.0%	119,350	△3.2%	226,581	237,271	△4.5%
	営業利益	2,528	△45.1%	7,338	15.2%	9,866	10,974	△10.1%
欧州	売上高	19,228	△7.7%	24,182	△11.7%	43,410	48,208	△10.0%
	営業利益	△1,183	↓	1,045	△23.9%	△138	950	↓
アジア	売上高	3,736	10.6%	3,655	△27.8%	7,391	8,439	△12.4%
	営業利益	△92	↑	△15	↑	△107	△687	↑
米国	売上高	2,897	13.2%	2,847	△16.2%	5,744	5,957	△3.6%
	営業利益	26	↑	△130	↑	△104	△232	↑
海外計	売上高	25,861	△3.4%	30,684	△14.4%	56,545	62,604	△9.7%
	営業利益	△1,249	↓	900	62.7%	△349	31	↓
単純合算合計	売上高	133,092	△5.5%	150,034	△5.7%	283,126	299,875	△5.6%
	営業利益	1,279	△68.7%	8,238	19.0%	9,517	11,005	△13.5%

注: 連結業績には上記の他、連結調整が含まれております。

国内事業（下期計画）オンワード樫山

オンワード樫山

	売上高	(前年±)	営業利益	(前年±)	経常利益	(百万円) (前年±)
HD+オンワード樫山	80,182	△3.0%	6,363	△5.5%	7,004	△5.3%

『機能軸から価値軸への転換』をさらに推進

■ 選択と集中

主力ブランドで攻め、売筋を徹底的に作る

「23区」「ICB」「自由区」「五大陸」「CKメンズ」「any SiS」の主力ブランド（売上構成比 42%）において
秋冬商品の積極投入を計画 ⇒ 売筋強化により、売上高を取りに行く

プロモーション強化

積極投入に加えて、特に「23区」「五大陸」においては、ブランドイメージをクオリティ高く伝える「広告」と
お客様の支持を得るための「販売促進」を両輪とした、心を動かす仕掛けを集中的に展開

■ 「価値軸」を見据えた組織改革

在庫一元化

今下期より、「23区」「五大陸」およびSR事業部門にて在庫の一元化をスタート
⇒ 全国の情報を一本化し、変化にスピーディーに対応/最終的には店頭とEC在庫を一元化しオムニチャネル化を加速

組織体制の見直し

来期に向けて「ブランド価値」の共有とともに、スピードの向上、重複業務の削減等を目的とした組織改革を推進

● 売場の新規/リニューアル/中止(下期レインボー作戦)

新規	21店舗	
リニューアル	73店舗	
廃止	77店舗	※ ブランド廃止 2店舗 を含む

国内事業（下期計画） その他国内子会社

国内子会社	(百万円)					
	売上高	(前年±)	営業利益	(前年±)	経常利益	(前年±)
オンワード商事	7,750	△3.6%	593	△8.8%	598	△9.0%
チャコット	5,434	2.6%	296	↑	285	↑
クリエイティブヨーコ	3,547	△5.7%	189	13.2%	219	△16.1%
アイランド	4,705	3.6%	757	4.0%	774	△0.4%
バースグループ	1,173	△47.4%	△148	↑	△154	↑
アクロストランスポート	5,814	△4.2%	114	△17.4%	115	△15.4%
オンワードクリエイティブセンター	1,950	△11.2%	67	63.4%	66	65.0%

● オンワード商事（ユニフォーム・セールスプロモーション商品等）

- ・ 前年と比較して、下期における大型受注案件が減少するものの、ローコスト生産の推進と高付加価値（商品・サービス）の提案を強化

● チャコット（舞台・演劇・バレエ用品等）

- ・ ダンス市場でのシェア拡大と新商品開発の強化による売上拡大

● クリエイティブヨーコ（ペット関連用品等）

- ・ 大型店舗の強化に加えて、不採算店舗の閉鎖を推進

● アイランド（婦人服・雑貨等）

- ・ 主力事業の安定的成長と新規事業（雑貨ブランド）の収益改善

● バースグループ（ヤングカジュアル婦人服・雑貨等）

- ・ 生産(OEM)事業の収益改善/ 国内の不採算店舗のスクラップを継続

● アクロストランスポート（ファッション物流事業等）

- ・ グループ外取引の拡大

● オンワードクリエイティブセンター（商業施設の設計・施工等）

- ・ メディカルデザイン事業の受注拡大

海外事業（下期計画） 欧州/アジア/米国

	売上高	(前年±)	営業利益	(前年±)	経常利益	(前年±)
オンワードラグジュアリーグループ	14,895	△19.4%	292	△61.9%	178	△81.0%
ジョゼフグループ	8,263	5.3%	643	16.3%	824	17.4%

>> 地域別の売上高・利益の下期予想は、P10を参照

欧州

※ 欧州は、2015年6月～11月の計画になります

オンワードラグジュアリーグループ

<ジボ・コーグループ事業>

- ・ OEM型への契約切替えや大型ブランドの契約終了(コレクションが終了のため)により、粗利益率のマイナスが継続

<ジル・サンダー事業>

- ・ 市場環境が想定以上に厳しく、卸売が減少
- ・ 欧州の気温上昇、生産コントロールのトラブルにより、秋冬商品の立ち上がりが遅れ、3Qの小売が苦戦

ジョゼフ

- ・ Eコマースや北米での百貨店ビジネスの伸長により、事業領域を拡大

アジア

※ アジア・米国は、2015年7月～12月の計画になります

- ・ 中国と東南アジアにおいて、不採算店舗の整理をさらに進めるとともに、中国におけるEコマースを拡大

米国

- ・ ブランド事業は、規模縮小によるコスト削減により収益性が改善
- ・ リゾート事業(ガム)は、アジア市場に向けた営業を強化

(参考資料) 今後の財務戦略について

1. 現状の財務内容

(1) 株主還元施策

利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当性向の目安を35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを基本方針として実行している。

	2013年2月期	2014年2月期	2015年2月期
一株当たり配当金	24円	24円	24円
配当性向	83.60%	80.80%	89.60%
配当利回り	3.40%	3.40%	3.30%

(2) 財務指標

充実した株主資本と機動的な資金調達手段の確保により財務リスクを回避し、安定的な自己資本比率を維持している。

	2013年2月期	2014年2月期	2015年2月期
自己資本比率	57.10%	55.20%	53.80%
デット・エクイティ・レシオ	0.3	0.34	0.36
ネット・デット・エクイティ・レシオ	0.15	0.18	0.19

2. ROE（自己資本利益率）向上の推進

収益性の向上に加えて、投資有価証券の売却等による資産の流動化や自己株式の取得、増配を含めた資本政策の見直しを継続的に実行し、さらに株主還元を推進する。

【目標】 ROE5%を目指す（2015年2月期 ROE 2.4%）

- 【対策】
- ① 自己株式の取得 ⇒ 今期中に500万株（40億円）の取得（公表済み）
自己株式の消却も併せて実施し（将来の希薄化懸念の払拭）株主還元の充実を図る
 - ② 保有株式の売却 ⇒ 持ち合い株式解消も含め継続して売却を推進する
 - ③ 配当政策 ⇒ 継続的に安定的な業績に連動した適正な利益配分の実施
業績向上による増配の検討

>> 具体的な数値目標については、2016年4月発表予定の中期経営計画にて説明予定

DATA BOOK

主要連結子会社の実績・予想 (連結) 設備投資/減価償却

<主要連結子会社の実績・予想>

(百万円)

セグメント別業績		2016年2月期 上期実績						2016年2月期 下期予想						2016年2月期 通期予想						
		売上高		営業利益		経常利益		売上高		営業利益		経常利益		売上高		営業利益		経常利益		
		当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	当年	前年±	
国内	オンワードHD+オンワード樺山	69,918	△5,721	2,337	△1,643	3,196	△1,572	80,182	△2,452	6,363	△373	7,004	△392	150,100	△8,173	8,700	△2,016	10,200	△1,964	
	国内子会社	オンワード商事	7,968	332	609	△1	614	△3	7,750	△289	593	△57	598	△59	15,718	43	1,202	△58	1,212	△62
		チャコット	5,738	80	432	△11	410	△17	5,434	136	296	236	285	209	11,172	216	728	225	695	192
		クリエイティブヨーコ	2,968	△215	△115	△124	△103	△140	3,547	△214	189	22	219	△42	6,515	△429	74	△102	116	△182
		アイランド	4,183	171	472	△47	494	△9	4,705	163	757	29	774	△3	8,888	334	1,229	△18	1,268	△12
		ハースグループ	1,228	△1,278	△286	293	△308	267	1,173	△1,056	△148	493	△154	481	2,401	△2,334	△434	786	△462	748
		アクロストランスポート	5,699	△59	99	59	104	64	5,814	△258	114	△24	115	△21	11,513	△317	213	35	219	43
		オンワードクリエイティブセンター	1,664	△435	31	21	32	21	1,950	△247	67	26	66	26	3,614	△682	98	47	98	47
		その他	7,865	328	△1,051	△623	△1,102	△672	8,795	324	△893	616	△1,054	550	16,660	652	△1,944	△7	△2,156	△122
	国内子会社計	37,313	△1,076	191	△433	141	△489	39,168	△1,441	975	1,341	849	1,141	76,481	△2,517	1,166	908	990	652	
国内計	107,231	△6,797	2,528	△2,076	3,337	△2,061	119,350	△3,893	7,338	968	7,853	749	226,581	△10,690	9,866	△1,108	11,190	△1,312		
海外	欧州	オンワードラグジュアリーグループ	11,967	△2,189	△929	△694	△499	△384	14,895	△3,579	292	△474	178	△758	26,862	△5,768	△637	△1,168	△321	△1,142
		ジョゼフグループ	6,267	397	△323	△143	△261	△188	8,263	415	643	90	824	122	14,530	812	320	△53	563	△66
		その他	994	198	69	77	△16	△9	1,024	△40	110	56	89	48	2,018	158	179	133	73	39
	欧州計	19,228	△1,594	△1,183	△760	△776	△581	24,182	△3,204	1,045	△328	1,091	△588	43,410	△4,798	△138	△1,088	315	△1,169	
	アジア計	3,736	359	△92	5	△94	16	3,655	△1,407	△15	575	△187	301	7,391	△1,048	△107	580	△281	317	
	米 国 計	2,897	338	26	28	97	37	2,847	△551	△130	100	△149	80	5,744	△213	△104	128	△52	117	
海外計	25,861	△897	△1,249	△727	△773	△528	30,684	△5,162	900	347	755	△207	56,545	△6,059	△349	△380	△18	△735		
合計(単純合算)	133,092	△7,694	1,279	△2,803	2,564	△2,589	150,034	△9,055	8,238	1,315	8,608	542	283,126	△16,749	9,517	△1,488	11,172	△2,047		
連結消去	△7,597	1,064	△1,054	451	△1,217	935	△8,129	1,584	△3,863	△94	△4,155	△250	△15,726	2,648	△4,917	357	△5,372	685		
連結合計	125,495	△6,630	225	△2,352	1,347	△1,654	141,905	△7,471	4,375	1,221	4,453	292	267,400	△14,101	4,600	△1,131	5,800	△1,362		

<設備投資>

(百万円)

	2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期	2014年 2月期	2015年 2月期	2015年8月 (実績)	2016年 2月期 (予想)
連結	5,794	5,405	6,230	8,948	16,750	26,884	7,570	17,300
HD+樺山	3,273	3,232	3,320	5,044	12,309	22,626	4,553	13,600

<減価償却>

(百万円)

	2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期	2014年 2月期	2015年 2月期	2015年8月 (実績)	2016年 2月期 (予想)
連結	5,747	5,642	5,478	5,721	6,202	7,218	3,743	8,000
HD+樺山	3,764	3,590	3,374	3,263	3,168	3,495	1,937	4,200

<オンワード樫山> 売上/売場面積 (品種・チャネル別)

<品種別>

(百万円)

	2016年2月期 上期実績			2016年2月期 下期予想			2016年2月期 通期予想		
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比
紳士服	15,474	16,644	△7.0%	19,787	20,395	△3.0%	35,261	37,039	△4.8%
婦人服	49,261	52,786	△6.7%	55,053	56,215	△2.1%	104,314	109,001	△4.3%
子供服	3,065	3,176	△3.5%	3,652	3,735	△2.2%	6,717	6,911	△2.8%
和装	0	694		0	368		0	1,062	
その他	2,118	2,339	△9.4%	1,690	1,921	△12.0%	3,808	4,260	△10.6%
合計	69,918	75,639	△7.6%	80,182	82,634	△3.0%	150,100	158,273	△5.2%

<チャネル別>

	2016年2月期 上期実績			2016年2月期 下期予想			2016年2月期 通期予想		
	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比	金額	前年	増減比
百貨店	48,281	53,361	△9.5%	57,285	60,508	△5.3%	105,566	113,869	△7.3%
新流通	17,085	17,217	△0.8%	18,613	17,850	4.3%	35,698	35,067	1.8%
専門店	1,729	1,850	△6.5%	1,887	1,964	△3.9%	3,616	3,814	△5.2%
チェーンストア	218	250	△12.8%	270	323	△16.4%	488	573	△14.8%
その他	2,605	2,961	△12.0%	2,127	1,989	6.9%	4,732	4,950	△4.4%
合計	69,918	75,639	△7.6%	80,182	82,634	△3.0%	150,100	158,273	△5.2%

<百貨店・新流通の売場面積の推移>

		2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期	2013年2月期	2014年2月期	2015年2月期	2015年8月(実績)	2016年2月期予想								
百貨店	売上高(百万円)	119,663	△11.4%	119,051	△0.5%	115,579	△2.9%	119,376	3.3%	117,429	△1.6%	113,869	△3.0%	48,281	△9.5%	105,566	△7.3%
	売場面積(m ²)	165,800	△4.4%	162,105	△2.2%	159,682	△1.5%	155,986	△2.3%	146,215	△6.3%	140,767	△3.7%	137,339	△6.0%	136,268	△3.2%
新流通	売上高(百万円)	28,218	△12.0%	27,160	△3.7%	26,361	△2.9%	29,564	12.2%	33,395	13.0%	35,067	5.0%	17,085	△0.8%	35,698	1.8%
	売場面積(m ²)	86,900	△6.0%	85,567	△1.5%	84,500	△1.2%	86,449	2.3%	84,257	△2.5%	86,254	2.4%	87,166	0.7%	87,166	1.1%

<オンワード樫山> 基幹・主要ブランドの売上高

<基幹・主要ブランドの売上高>

(百万円)

ブランド	2016年2月期 上期実績			2016年2月期 下期予想			2016年2月期 通期予想			構成比
	当年	前年	増減比	当年	前年	増減比	当年	前年	増減比	
23区 (レディス)	12,763	12,783	±0	14,407	14,095	2%	27,170	26,878	1%	38%
組曲 (レディス)	5,220	5,575	△6%	5,860	5,962	△2%	11,080	11,537	△4%	
ICB (レディス)	3,783	3,951	△4%	4,962	4,963	±0	8,745	8,914	△2%	
自由区 (レディス)	4,400	4,546	△3%	4,990	4,841	3%	9,390	9,387	±0	
基幹ブランド 計	26,166	26,855	△3%	30,219	29,861	1%	56,385	56,716	△1%	
J. プレス (メンズ・レディス・子供)	4,475	4,800	△7%	5,075	5,047	1%	9,550	9,847	△3%	62%
カルバン・クライン プラティナム・レーベル (メンズ・レディス)	2,146	2,347	△9%	2,649	2,787	△5%	4,795	5,134	△7%	
五大陸 (メンズ)	2,616	2,706	△3%	2,094	2,086	±0	4,710	4,792	△2%	
ソニア・リキエル コレクション (レディス)	1,548	1,790	△14%	1,652	1,855	△11%	3,200	3,645	△12%	
ダックス (メンズ・ゴルフ)	1,380	1,497	△8%	1,630	1,706	△4%	3,010	3,203	△6%	
ポール・スミス (レディス)	2,024	2,084	△3%	2,246	2,300	△2%	4,270	4,384	△3%	
ジョゼフ (メンズ・レディス)	2,245	2,174	3%	2,765	2,728	1%	5,010	4,902	2%	
ジェーンモア (レディス)	1,318	1,428	△8%	1,292	1,404	△8%	2,610	2,832	△8%	
百貨店主要ブランド 計	43,918	45,681	△4%	49,622	49,774	±0	93,540	95,455	△2%	
エニィファミ (レディス・子供)	3,670	4,002	△8%	4,000	4,153	△4%	7,670	8,155	△6%	
エニィスイス (レディス)	4,132	4,191	△1%	4,673	4,570	2%	8,805	8,761	1%	
フィールドドリーム (メンズ・レディス)	1,709	1,834	△7%	1,761	1,835	△4%	3,470	3,669	△5%	
新流通主要ブランド 計	9,511	10,027	△5%	10,434	10,558	△1%	19,945	20,585	△3%	
基幹・主要ブランド 計	53,429	55,708	△4%	60,056	60,332	±0	113,485	116,040	△2%	76%

※ 通期売上高が30億円以上のブランドを記載しております。

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を
負いませんのでご承知おきください。